



岡野クリニック にゅーす

医療法人社団 貴昌会

岡野クリニック

〒343-0808

越谷市赤山本町7-2

☎048-969-0223 FAX048-969-0224

特集コーナー 大腸がん

食生活が欧米化してきたからでしょうか、欧米諸国に多い大腸がん、直腸がんが日本が増えていきます。幸いな事に、大腸がんは他の臓器のがんに比べ、比較的転移の傾向が遅く、早期発見、早期手術によって完治する確立が高いといわれています。次のような症状のある方は大腸の検査をお勧めいたします。

・便に血が混ざっている。
・排便後にまだ便が残っている感じがする。

・排便の異常（回数など今までとは異なった排便）
・便秘、下痢を繰り返す。

成人病健診では便潜血検査を行ないませんが、これは便に血液が付着しているか否か、の判定に過ぎず、痔や肛門の病気が原因している事が多いのです。やはり、大腸内視鏡検査をお勧めします。精度も向上し、余り苦痛も無く検査が受けられます。

お誕生日おめでとう

この地に開院し、早いもので先月十周年を迎えました。これからも変わらず、地域医療に邁進してまいります。

今月から導入される後期高齢者医療制度には、今後の治療、費用の問題と、不安を感じる高齢の患者さんも多いかと思えます。どうぞ遠慮なくご相談ください。



4階リハビリ・今月のあて 春の養生法

外はすっかり暖かくなり、桜も満開の春たけなわの装いです。今月は春の養生法を紹介します。東洋医学では自然と人間との調和を大切に、自然現象と人体の生理現象を結び付けて考えるという特色があります。春は自然界の全てのもが伸びやかに成長する季節、太陽の光が段々強くなり、自然界の陽気（暖かいエネルギー）が増えてきます。それに伴い、人間も体だけでなく精神的にも活動的になってきます。この時期には冬の間、寒さで縮こまっていた体に大きな伸びをさせてやりましょう。天気の良い日は外に出て春の陽気をたくさん浴び、積極的に体を動かし、エネルギーを循環させるようにします。家にもってばかりいると、体のエネルギーが循環せず、鬱々とした状態にもなり、春先の眩暈、ふらつき、のぼせ、不眠、疲労感や体のだるさ、気分の落ち込みなどといった症状が現れる事もあります。是非、外に出て春の情景を楽しんでください。

在宅シリーズ 訪問看護

様々な花が咲き、気持ちの良い季節です。家の中で歩けるようでしたら、天気の良い日、体調に合わせて、外出してみたいかがでしょう。最初は庭の中を、少し慣れてきたら近道を散歩するのも良いですね。杖やシルバーカーを使用し、介護者に付いてきてもらっ

すたっふ便

でもいいでしょう。杖の使い方、特に杖を選ぶ際には、重さ、握りの形など様々な種類があるので、理学療法士、看護師に相談し、自分に合ったものを選ぶようにしましょう。慣れてきたら、少しずつ散歩の距離を伸ばしてみたり、ちよつとした買物をしてみたりすると歩く事が楽しみになりますし、外出のために服装を整える事が気分転換にもなります。



桜は古くから最も日本人に愛されてきた花です。「花見」といえば桜。もともとは春の農作業に先立ち、豊作を祈願し、桜を観ながら持ち寄った酒やご馳走で宴を催したのと言われています。

さて、四月から七十五歳以上の方、一定以上の障害のある六十五歳以上の方の保険証が変わりました。すでにお手元に届いている「後期高齢者医療被保険者証」です。今までの老人保健医療受給証、健康保険証は使えなくなりましたので、くれぐれもご注意ください。

四月の予定 卯月

休診日 六日 十三日 二十日

二十七日、二十九日

※四階リハビリは次の木曜日、土曜日、お休みです。

三日、十日、十二日、十七日、

二十四日、二十六日

